

お客様とともに、誠実・安心・成長

大鉄 MADE

OSAKA STEEL GROUP

2020年度第2四半期 決算テレフォンカンファレンス

 **大阪製鐵株式会社**

2020年11月26日

本日の内容

- I . 2020年度 第2四半期決算実績
- II . 2020年度 決算見通し
- III . 足下の状況について

代表取締役社長 野村泰介

I . 2020年度 第2四半期決算実績

1. 連結損益状況
2. 連結経常損益分析(対前年同期増減)
3. 製品市況およびスクラップ市況推移
- 4-(1). 連結比較貸借対照表(資産の部)
- 4-(2). 連結比較貸借対照表(負債および純資産の部)
5. キャッシュフロー
6. 主な財務指標
7. 配当金推移

1. 連結損益状況 対前年同期増減

(単位:億円)

	2019年度 上期実績	2020年度 上期実績	増減
売上高	464	366	△98
営業利益	41	10	△31
経常利益	39	8	△32
当期純利益	26	4	△37
売上高経常利益率	8.5%	2.1%	△6.4%

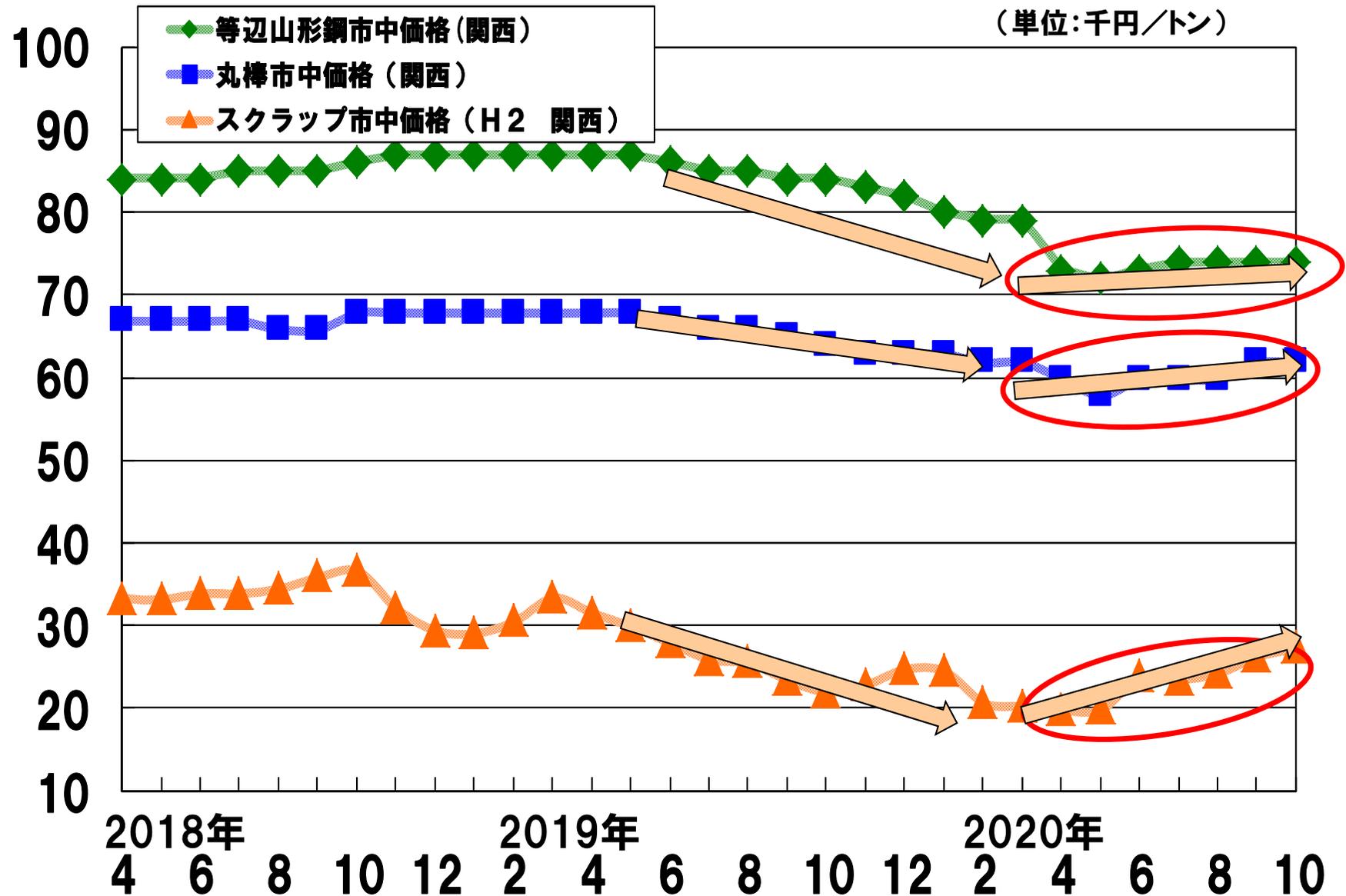
2. 連結経常損益分析(対前年同期増減)

(1) 生産出荷量の減少	△11 億円
(2) スクラップ等価格下落	+20 億円
(3) エネルギー・資材等価格低下	+5 億円
(4) 販売価格低下	△48 億円
(5) コスト関係他	△1 億円
(6) 減価償却方法変更影響	+3 億円

損益差異

△32 億円

3. 製品市況およびスクラップ市況推移



4-(1). 連結比較貸借対照表

●資産の部

(単位:億円)

科 目	2020年3月末	2020年9月末	増 減
流 動 資 産	1,283	1,289	+6
現金同等物	744	783	+39
受手・売掛・未収入金	261	225	△36
棚卸資産	176	179	+3
関係会社短期貸付金	100	100	-
そ の 他	2	2	+0
固 定 資 産	725	750	+25
有形固定資産	703	728	+25
無形固定資産	1	1	△0
投資有価証券	9	9	△0
そ の 他	12	13	+0
資 産 合 計	2,008	2,039	+31

4-(2). 連結比較貸借対照表

●負債および純資産の部

(単位:億円)

科 目	2020年3月末	2020年9月末	増 減
買 掛 ・ 支 手	114	118	+4
短 期 借 入 金	148	198	+50
長 期 借 入 金	126	119	△7
未 払 金	53	60	+8
そ の 他	83	66	△17
負債(流動+固定)合計	524	562	+38
資 本 金	88	88	-
資 本 剰 余 金	109	109	-
利 益 剰 余 金	1,312	1,308	△4
自 己 株 式	△45	△45	+0
株 主 資 本 合 計	1,464	1,460	△4
その他の包括利益累計額	1	△0	△1
非支配株主持分	20	17	△2
純 資 産 合 計	1,484	1,477	△7
負債・純資産合計	2,008	2,039	+31

5. キャッシュフロー

(単位:億円)

税金等調整前当期純利益	8
減価償却費	17
売上債権・仕入債務・未収入金の増減	40
棚卸資産の増加	△4
法人税等の支払い	△16
その他	△10
営業活動によるキャッシュフロー	34
固定資産の取得による支出	△35
その他	0
投資活動によるキャッシュフロー	△35
借入金の増減	48
配当金の支払	△8
非支配株主への配当金の支払	△0
財務活動によるキャッシュフロー	40
現金同等物に係る換算差額	△0
現金及び現金同等物増加 (744→783)	39

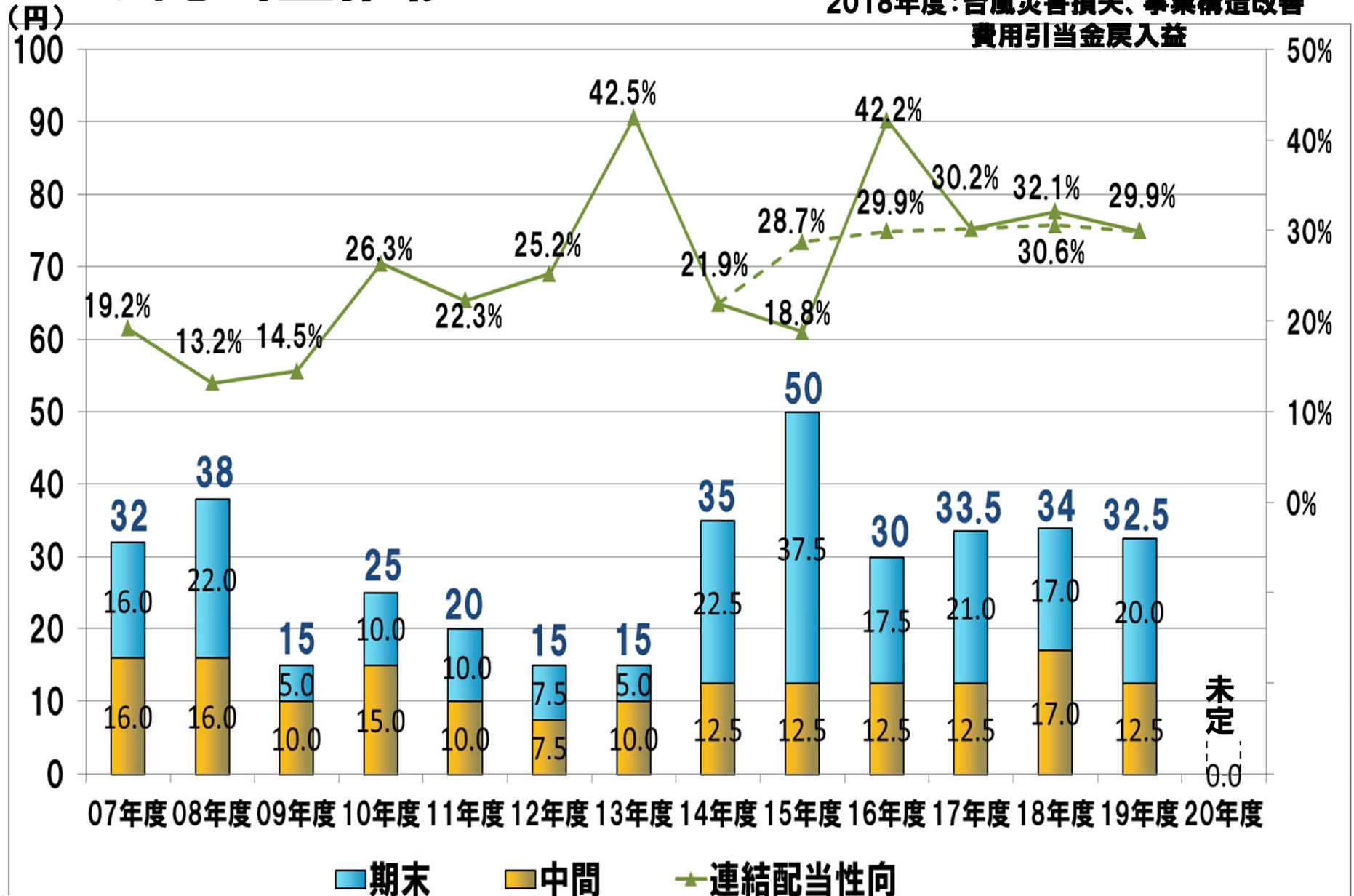
6. 主な財務指標

全上場企業平均 うち、鉄鋼業平均

	2019/9E	2020/3E	2020/9E	2019年度	2019年度
自己資本比率	72.7%	72.9%	71.6%	55.5%	60.1%
1株当たり純資産	3,736円	3,763円	3,750円		
当社株価 PBR	1,325円 0.35	1,154円 0.31	1,052円 0.28		
総資産経常利益率 (ROA)	3.9%	3.3%	0.8%	5.6%	3.7%
自己資本当期純利益率 (ROE)	3.6%	2.9%	0.5%	5.9%	2.9%

7. 配当金推移

配当性向の点線は特殊要因除き
 2015年度：負ののれん発生益(東京鋼鐵)
 2016年度：熊本地震災害損失
 2018年度：台風災害損失、事業構造改善
 費用引当金戻入益



Ⅱ . 2020年度 決算見通し

1. 年度連結損益見通し

2. 年度連結経常損益見通し分析

1. 年度連結損益見通し 対前年度増減

(単位:億円)

	2019年度実績	2020年度見通し	増減
売上高	916	740	△176
営業利益	74	17	△57
経常利益	67	10	△57
当期純利益	42	5	△37
売上高経常利益率	7.4%	1.4	△6.0%

2. 年度連結経常損益見通し分析 対前年度増減

対前年度経常利益 $\Delta 57$ 億円程度

(1) 生産・出荷量減少 $\Delta 25$ 億円程度

(2) マージン悪化 $\Delta 50$ 億円程度

(3) エネルギー・資材等価格低下 $+10$ 億円程度

(4) 減価償却方法変更影響 $+10$ 億円程度

損益差異 $\Delta 57$ 億円程度

Ⅲ．足下の取組みについて

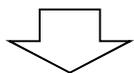
1. KOSの収益改善について
2. 大阪事業所圧延ライン強化対策について

1. KOSの収益改善について

- ・**新型コロナウイルス感染症拡大影響で
鋼材需要減少、為替差損発生**

→財務基盤が悪化

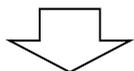
- ・**インドネシアはKOSにとって有望な市場**



KOSの事業拡充に向けた財務基盤強化策実施

1. KOSの収益改善について

- **収益改善策により、7～9月キャッシュフロー黒字、
営業利益9月単月黒字化**
- **今後の主要収益改善施策**
 - **安定的に競争力のあるピレット供給**
 - **集中生産等による変動費削減**
 - **鉄塔用形鋼需要の確実な捕捉、
非鉄塔分野での販路拡大**



コロナウイルス影響収束後の早期黒字化

2. 大阪事業所圧延ライン強化対策について

- ・9月 **新粗圧延機設置、設備性能確認完了**
- ・本年中 **主要サイズ品質確性**
- ・2021年6月末 **レール規格認証・EG大臣認定取得、
主要サイズ量産体制確立**

2022年度以降 効果フル発揮